

平成26年度

創立35年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No.7

(承認 賞賛 奨励)

平成26年 8月25日

安積第三小学校



今
始まる

新しい自分の歴史が

記念すべき一歩

重い一歩

自分を大きくしていくための

今日の一歩は

確実に近づいていく

めざすところに

歩みやめない限り

一歩 一歩の

明日の二歩目につながる

今日 踏み出した一歩が

2学期 みんなの元気な笑顔でスタート

子ども達の元気な笑顔が学校に戻ってきました。久しぶりに全校生に会えるこの日を楽しみにしていました。夏休み期間中大きな事故やけがもなく、学校に子ども達の元気な声がこだますることが何よりもうれしいことです。真っ黒に日焼けした体、きりっと引き締まった目、たくましく成長した心、きっとそれぞれの子ども達が充実した夏休みを過ごしたことでしょう。各学年の教室では、夏休みの宿題の披露や思い出話で盛り上がった様子です。

いよいよ2学期のスタートです。2学期は、子ども達の学習活動がさらに充実する学期です。校内水泳記録会、宿泊学習、校内授業研究会、ピアノ三重奏コンサート、市内陸上交歓会、学習発表会・三小まつりなど、たくさんの行事・校外学習があります。

生活のリズムを早く取り戻し、学習に運動に全力で取り組んで、充実した学校生活を送られるようにしていきたいと思います。

子どもとのかかわり

東北大学の元学長であった加藤陸雄先生は、「私の最初の記憶は満4歳の時にはじまる。私は庭で蟻の巣を見つけ、それで遊んでいた。近所で新築工事をしていたので、大工さんから木の切れ端をもらい蟻の巣を囲った。やがて日が暮れ、自分は床に入ったが、囲いの中の蟻がどうしても心配で眠れない。ゴロンゴロンしていると、母親が『どうしたの?』と聞くので、『蟻のことが心配で』と言うと、母親は手に提灯を持ち『起きて一緒に蟻を見よう』と言って雨戸をあけ、庭へ下りて一緒に蟻を見た。蟻は静かにしていた。提灯を手にして『蟻を見に行こう』と言った母の立つ姿が今でも目にありありと残っている……」と書いています。

加藤先生の兄弟は4人とも理学博士で、学者兄弟として有名です。両親の育て方がやがて自分の頭でモノを考える人を育てあげたのではないのでしょうか。

私達は、子どものできることによりも、できないことに気をとられがちです。何ができないかよりも、何ができるかに関心を持ち、子どもが自分自身をよりよく生かせる方向を子どもと共に考え、子どもにかかわっていくことが大切な役割だと考えます。